

えひめ防災セミナーを開催しました

～平成30年7月豪雨から5年、改めて防災・減災について考える～

日本損害保険協会四国支部愛媛損保会（会長：林 純一郎・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、愛媛支店長）では、「平成30年7月豪雨」から5年が経過した今、改めて愛媛県民の皆様へ「防災・減災」について考えていただき、「防災・減災」について取り組んでほしいという想いから「えひめ防災セミナー」を開催しました。

当日は自主防災組織や一般の方、損保関係者、生保関係者、代理店など130名が来場され、NHK松山放送局、あいテレビ、テレビ愛媛、南海放送、愛媛新聞社が取材に訪れました。

来場者アンケートでは、「マイ・タイムラインの重要性を理解したため作成したい」、「県の防災取組みを知ることができてよかった」、「防災士の資格取得に取り組みたい」、「保険の見直しを行いたい」、「新たな知見を知ることができた」といった肯定的な意見が多数寄せられ、参加者の「防災・減災」意識の向上が見受けられました。

日時：2024年2月8日（木） 14:00～16:00

場所：松山市総合コミュニティセンター3階大会議室

えひめ防災セミナー概要

【開会挨拶】

林 純一郎 氏 一般社団法人日本損害保険協会愛媛損保会長
（あいおいニッセイ同和損害保険株）愛媛支店長
井上 敬之 氏 愛媛県防災安全統括部長

【セミナー】

第1部 「愛媛県の自然災害への備え」
二神 透 氏 愛媛大学防災情報研究センター 副センター長

第2部 「愛媛県の防災・減災に向けた取組みについて」
川内 康孝 氏 愛媛県県民環境部防災局 危機管理監

第3部 「自然災害における損保業界の役割」
古藪 尚大 氏 あいおいニッセイ同和損害保険株）愛媛支店地域戦略室長

林愛媛損保会長、井上愛媛県防災安全統括部長の開会挨拶があった後、愛媛大学防災情報研究センターの二神副センター長から、能登半島地震の現地調査を踏まえて現地の様子を報告しつつ、地震・豪雨災害への備えとして、家具の転倒・落下防止対策、一週間の食料と水をローリングストックで確保する、マイトイレの準備、マイ・タイムラインの作成などが重要との説明がありました。

引続き愛媛県県民環境部防災局の川内危機管理監から、平成30年7月豪雨や南海トラフ地震の概要を踏まえながら、愛媛県の取組みである「えひめ震災対策アクションプラン」や津波避難実践キャンペーンである「逃げチャレ」などの説明がありました。

最後に、あいおいニッセイ同和損保の古藪地域戦略室長から、能登半島地震の現地調査を踏まえつつ自然災害における損保の役割について解説されました。

当支部では、引続き行政等と連携しつつ、災害に強い社会の実現を目指して、防災意識向上に係る取組みを推進して参ります。



講演を行う二神副センター長



講演を行う川内危機管理監



講演を行う古藪地域戦略室長



会場の様子